

年始まはり

三遊亭円朝

青空文庫

わたくしはさくねん
 私は昨年はの十二月芝愛宕下は桜川町へ越こしまして、此こ
のはるはつゆはい
 春は初湯はに入いりたいと存ぞんじ、つい近きん辺べんの銭湯せんたうにまりまし
 て「初湯はつゆはいあらへそ
 「初湯はつゆはいあらへそにも洗あらひのこすや臍へそのあか」といふのと、「をしげなく
 こぼしてはいる初湯はつゆはいあらへそかな」と二句くやりました。板いたの間まには余あり人
 が居をりませぬで、四にん五を人居にんりました。此湯このゆは昔むかし風ふうの柘榴ざくろ口
 ではないけれど、はいる処ところが一ちよつと寸薄うすぐら暗くらくなつて居をります。
 板いたの間まに留とめ桶けを置をいて洗あらつてゐる年輩ねんばいの人ひとが、御近ごきん辺べんのお
 心こころ安やすい方かたと見みえて言い葉はをかけ、甲め「お目出度めでたうございます。
 乙め「はい、お目出度めでたうございます。甲め「昨日さくじつは御年頭ごねんとうまりで
 ございましたか。乙め「いやもう草臥くたびれて……年としを老とつてはいけま

せぬ、実じつにがツかりしました。甲「へー御遠方ごゑんぱうをお歩きでしたか。乙「え、初め宅はじたくを出まして、それから靈南坂れいなんざかを上つて麻布あざぶへ出ました、麻布あざぶから高輪たかなわへ出まして、それから芝しばへ歸つて来て、新橋しんばしを渡り、煉瓦れんがどほ通りをまはりまして、京橋きやうばしから日にほん本橋ぼしから神田かんだへ出ましてな、下谷したやから浅草あさくさをまはつて、それから貴方あなた、本郷台ほんがうだいへかゝりました、それから牛込うしごめへ出まして、よつや四谷よつやから麴かうぢまち町まちをまはつて歸つてまゐりまして、いやもうがつかり致いたしました。と話をしてゐると、湯の中で、甲「どうしたい昨日きのうは。乙「どうも草臥くたびれたつてねえサ、ひどい草臥くたびれやうをしたぜ。甲「どうしたえ。乙「どうしたつて無えぢやア無えか、昨日きのうは年始ねんしまはりだ、朝家あさうちを出て靈南坂れいなんざかを上つて、麻布あざぶへ出たんだ、

あぎぶ 麻布から高輪へ出て、それから芝へ帰つて来て、新橋を渡り、
 れんがどほ 煉瓦通りを、つて神田へ出て、下谷から浅草へ出たらう、そ
 まは ほんがうだい れから本郷台へ上つて、牛込へ出て四谷から麴町へ出て
 あが 帰つて来た、いやもうがっかりした。と云ふのを板の間にゐる前
 かへ
 の人が聞いて、「誰だ己の真似をするのは。と云つて腹を立て、
 ひきず そのをとこ 其男を引摺り出して打ん殴つたところが、昨日自分の連れて
 歩いた車夫でございました。

(拋武陽生筆記)

青空文庫情報

底本：「明治の文学 第3巻 三遊亭円朝」筑摩書房

2001（平成13）年8月25日初版第1刷発行

底本の親本：「定本 円朝全集 巻の13」世界文庫

1964（昭和39）年6月発行

入力：門田裕志

校正：noriko saito

2009年6月19日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www>

W.aozora.gr.jp) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランテイアの皆さんです。

年始まはり

三遊亭円朝

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>